



地球環境と天然ガス転換

CO₂ 20%削減へ

鳥取ガス株式会社

取締役社長

兎嶋祥悟

経済社会は、いま空前の試練に立たされています。物質と平和を安易に貪り、モラル喪失で体質も精神も肥満児と化した日本経済が、いずれは対峙せざるを得なかつた宿年の課題と言えましよう。

この激動期に当社はあえて、平成十一年実施を目指し「天然ガス転換」の準備に取り組んでいます。理由は「長期安定供給」と「人と地球にやさしいクリーンエネルギー」だからです。

昨年末京都で世界環境会議が開催されたように、地球温暖化問題は深刻な状態に陥っています。当社が天然ガス化すれば、CO₂の排出量は約二〇パーセント削減できます。石油の過度な中東依存が懸念されていますが、サハリンや東シベリアの天然ガス開発が、ようやく具体性を帯び、国際パイプラインによって我国へ導入される日も遠くないでしょう。二十一世紀の基幹エネルギーと称される天然ガスへの転換事業は、お客様さまの信頼関係を頂いてこそ成し得るものです。皆さまのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。